

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和元年7月27日発行

No.5

第Ⅰ学期を終えて

副校長 木原 英俊



研究大会の前日集会の時に、「いつも通りの姿を見せてほしい」とお話ししました。ですから、「頑張って」ではなく「いつも通りに」という言葉を伝えました。皆さん如何だったでしょうか。特に3年生にとっては最後の研究大会でしたが、これまで積み重ねてきた日常を、参会された皆様感じていただくことはできましたか。研究大会を終えて、参会された皆様からは「生徒の意欲の高さに感動しました」「爽やかな挨拶とチョットした心遣いに、温かい気持ちになりました」「素晴らしい子どもたちですね」など、お褒めの言葉をたくさんいただきました。こういった言葉からは、「また明日からも頑張ろう」という元気をもらえます。それは、これらの言葉から日常の姿を感じてもらえたことがわかるからです。

4月からスタートした第Ⅰ期では、入学式から始まり、新しい仲間との出会い、旅行的行事、定期テスト、中体連などのたくさんの活動を通して、様々な経験をしました。楽しいことばかりではなく、時には辛いこともあったかもしれません。しかし、その分、自分自身でも成長が見られたのではないのでしょうか。例えば、旅行的行事で各学年の学びを一言で表せば、1年生は「ふだんの努力が大切」2年生は「困難は気持ちの在り方で乗り越えられる」3年生は「真心をもって本物の楽しさを得る」となると思います。そして皆さんは、この学びを日々の生活の中に浸透させる努力をしています。

さて、ここで少しスポーツの話をさせてください。先日、高校野球の夏の甲子園大会、鹿児島県予選のある試合について記された新聞記事が目にとまりました。以下はその一部抜粋です。「まるで打撃練習をみているような攻撃だった。一回裏に打者3巡で25点、二回に12点、三回は4点、四回に14点を追加し、本塁打4本を含む計33安打、54盗塁を記録。県高野連によると、55点差は夏の大会で過去最大の点差…」(中略) 敗れたチームの投手は、試合中「1アウトが遠い」と何度も思った。それでもベンチの仲間やスタンドから「頑張れー」の声が聞こえた。チームが1アウトを取るごとに湧き起こる歓声や拍手に励まされ、232球を投げきった。結果は夏の大会で過去最大の点差。敗れたチームの主将は試合後に「チームはヒットを4本も打った。みんなで最後まであきらめず戦い抜くことができた。悔いのない試合でした」と話し、晴れ晴れした表情で球場を後にした…。といった内容でした。

結果だけ見ると「55対0」という記録的な大差がついた試合ですが、本質は点差ではありません。最後まであきらめなかった敗者も立派。最後まで手を抜かなかった勝者も立派です。両者に共通している

のは、相手に対する敬意をもって、自分ができることを最後までやりきったことです。だからこそ、試合には負けても、晴れ晴れとした気持ちで最後の大会を終えることができたのだと思います。

私は、6月下旬からつい先日まで行われていた中体連の各会場で皆さんが見せてくれた姿からも、改めて、「できることを最後までやり抜く」ことの大切さを、教えてもらいました。そして、このことはスポーツだけではなく、学校生活も含めたすべてのことに共通しているものです。

明日からいよいよ夏休みが始まります。これまで頑張ってきた自分自身を少しでも休めて、第Ⅱ期に向けてリフレッシュする時間にして欲しいと思います。また、家族への感謝の気持ちを言葉や行動で伝えてください。そして、夏休みは自分自身の目標や可能性に向けて、じっくりとチャレンジできる時期です。

研究大会の前日集会の時に、「努力」は足し算、「協力」はかけ算というお話しをしました。夏休み中は一人一人が、自分自身の目標に向き合い「努力」を積み重ねてください。「10+10は20」で、その積み重ねは地道ですが、確実に皆さんの財産になります。そして、8月から始まる第Ⅱ期は、日常の積み重ねに加えて、様々な行事への取組を通して他者との「協力」を大切にしてください。一人ではできないことでも、「10×10は100」となって、大きな力を生み出し自分自身を成長させてくれるはずですよ。

8月23日の授業開始集会では、ひとまわり成長した皆さん全員と、この体育館で元気に再会できることを楽しみにしています。ぜひ充実した夏休みを過ごしてください。

～ 夏季休業前集会 副校長講話より ～

夏休みに向けて

養護教諭 山角 亜沙美

「何かを調べようと思っていたのに、どんどん違うものが目に入って結局何をしようとしたかわからなくなっちゃって。」

勉強中、スマートフォンで調べようと単語を入力しようとしたら、先ほどまで見ていた画面が現れ、引き込まれてしまう。導かれるかのように次々とクリックしていくうちに…アレ？最初何調べようと思ったんだっけ…。

「気にしない気にしないと思っているのに、目に入っちゃうんです」

勉強に専念するぞ！と心に決めて、集中する前に連絡が来ていないかだけチェックしようとLINEを開く。すると、誰に向けられたかわからない“ステータスメッセージ”が目に入ってしまう。勉強をしてもさっきのメッセージが頭から離れない。アレって誰のこと？自分のこと…？

…上記のようなつぶやきは、前任までの小学校でも、中学校でも共通して耳にします。今や、子どもたちの生活がどれほどスマホに“囚われている”のかを実感する日々です。

スマホやネットの影響は各分野で叫ばれていますが、脳科学からみた学力との関係は興味深いものがあります。仙台市で数万人の小中学生を対象に実施した学力調査のデータでは、毎日2時間以上勉強しスマホを4時間以上使う子は、30分以下しか勉強せずスマホを使わない子よりも平均点が低かったそ

うです。スマホを使用することで考える・発明する・がまんする・集中するなどの働きをもつ前頭葉の「前頭前野」の機能が抑制されてしまうそうです。また、スマホに依存することで、楽しい・おもしろい・集中している時に出る脳内物質ドーパミンがうまく出ず、勉強自体のおもしろさを感じにくくなってしまふといひます。冒頭のように単にスマホに時間が削がれてしまっただけではなく、脳機能そのものへの影響があるようです。

これから1ヶ月近い夏休み。息抜きに、友達との連絡に・・・必要な時もあることでしょう。しかし、単純に普段学校で生活している時間も触ることができるようになる分、依存のリスクも高まり、生活習慣の乱れも懸念されます。既に使用のルールを決められていると思いますが、改めてお話されてみてはいかげでしょうか。お子さんと一緒に「スマホ・ネットと上手に付き合うとはどういふことか」を考えるその過程こそが、大切な時間ではないかと感じます。心や体の成長に大切な中学生の夏休みの一時が、スマホに“囚われる”ことなく過ごすことができるよう、願っております。

参考：川島隆太『スマホが学力を破壊する』 集英社新書

■校舎整備が行われました。

去る7月13日（土）に父親委員会主催の校舎整備が行われました。今年度からは、父親委員以外の皆様にもご協力いただき、玄関前の草むしりや窓掃除など、例年以上に多くの場所をきれいにさせていただきました。お休みの日にも関わらずご参加して下さった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



■教育研究大会ではお世話になりました。(23日+当日)



昨日、教育研究大会が無事に終わりました。事前の23日には、校舎の清掃や紀要の袋詰めなどのボランティア活動に多くの保護者の皆様にご協力いただきました。また当日は、PTA・ふじづる会の役員・委員の皆様には、心のこもったおもてなしをしていただきました。教育研究大会が開催できるのも、こうした保護者の皆様のご協力があつてこそだと思ひます。本当にありがとうございました。

■夏休みを元氣にお過ごしください。

明日から、約1ヶ月の夏休みに入ります。生活面に関わりましては、生徒指導部より別紙にて「夏休みの生活」を配付させていただきました。学級担任を通してお話をいたしましたげ、各ご家庭におかれましても話題に挙げていただき、事故やケガに注意していただきますようよろしくお願ひいたします。

なお、夏休み中に急なご連絡がある場合は、附属札幌中（778-0481 職員室または778-0482 事務室）にお願ひいたします。



8月の行事予定

日（曜日）	行事等の予定	最終下校バス時刻（予定）
22（木）	～夏季休業日 ※8/25の振替休業日	
23（金）	授業開始集会、選挙管理委員会	16:50
24（土）	学校説明会（弁当持参） 3時間目…授業公開 5・6時間目…藤華祭PJ活動 諸活動停止、職員室入室制限	16:30
25日（日）	部活動不可	
26日（月）	主免実習開始・副免実習開始	16:50
27日（火）	前期末テスト①（国・数・社・理・英）	15:20
28日（水）	前期末テスト②（音・美・体・技家） 3年生卒業写真撮影、藤華祭PJ活動	16:50
29日（木）	放）選挙管理委員会	16:50
30日（金）	放）藤華祭サミット	16:50
31日（土）	附属小運動会 部活動不可	

【9月の主な予定】

- 2日（月） 委員会・専門局会（前期活動反省）
- 3日（火） 3年生フィールドワーク
- 4日（水） 3年生QU検査
- 10日（火） 生徒会役員演説会・選挙 PTA役員会
- 11日（水） 3年学力テストA
- 12日（木） 職員会議 カルガリー大学視察（1年）
- 21日（土） 第8回藤華祭
- 24日（火） 席書大会
- 27日（金） 前期終業式
- 30日（月） 後期始業式 後期委員選出 委員会・専門局会（3役決め）

